

FLORE21 ホットニュース

母の日明けの月曜日。母の日を終え、空っぽになったお店を通常営業にもどすため市場には多くの花屋さんが来場し、たくさんの仕入れをしてくださいました。

ありがとうございました。

水曜日からの市場は、落ち着いた通常営業に戻りましたが、母の日の前後で出荷品目はガラッと変わり「初夏」モードになりました。カーネーションは端境期に入り、春小花は終わりに向かっています。その代わりに、たくさんのシャクヤクが並び、枝ものコーナーにはもりもりのスモークツリーが始まりました。

気温はすでに30度に届きそうですが、お花で「さわやかな初夏」を感じたいですね。

今週のホットニュースは、

○大田店 新社員初登場。初産地訪問レポート（アンス大佐和花卉園さんへ）

○世田谷店 今の時期にしか出会えない植物たち

○葛西店 ちょっとした雑学 植物にまつわるギリシャ神話の数々

○会長小池のコラム(過去記事) 「本物の言葉」 リンカーンに学ぶ言葉の力

以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

こんにちは！大田店の三代・由井です👋（4月に入社した新人です！）

初の生産者訪問。千葉県富津市にあるご存じアンスリウムの**大佐和花卉園さん**に行ってきました！



◎アンスリウムの構造・仕組み

中央の飛び出た部分が「花」で、「肉穂花序」と呼びます。

周りのつぼみを包んでいた葉が変化した部分を「**仏炎苞**」と呼びます。

◎アンズリウムの生育環境

アンズリウムが成長する上で望ましい環境である、「日陰」・「多湿」を再現するために、ハウス内は気温が25℃、湿度が80～90%に保たれており、天井には遮光シートがかかっています。



私たちが見学をさせていただいた際、ちょうど従業員の方が手作業で水を撒いていました。（右写真）

遮光シートは日差しが強くなってくる2月頃から二重にするそうです。

◎「夏花」と「冬花」

夏花（冬至～5月）

葉の大きさによって花の大きさが変わります。

夏花の時期は葉っぱが大きく成長するため、花も大きく色味が濃くなります。

冬花（5月～11月）

反対に冬花の時期は、気温が高く日射が強いため、葉が小さく、小輪・中輪になり、色も薄くなります。

◎品種紹介



カンテロ



スパイス



ザフィラ



ロックセット



ナリタレッド



プリンセスアレキシアパール

「オバケ」と呼ばれる品種とは？

オバケの語源は「化ける」。

育てている過程で形が変化したものを全世界で「オバケ」と呼んでいます！



ネロオバケ

ネロは赤黒いのが特徴ですが、寒暖差によって、緑が入り縦長になります。



セリゼリウム

花が豚の尻尾に似ていることからオランダでは“ピッグテール”と呼ばれています





クロコダイルフアン



アンスリウムフェアのディスプレイの様子です！

◎切花の保管方法

☆アンスリウムは、「直射日光」・「直冷風」・「水滴」を避けて！

直射日光や直で冷風が当たる場所に保管しておく、花がすぐにしなっとなってしまう... 😞

また、仏炎苞と呼ばれる部分に水滴がついたままになっていると、それがシミになってしまいます。表面に水滴がついたときは拭き取るか、軽く振ってあげると良いでしょう！ ✨

☆アンスリウムは、基本的に「常温保存」！

アンスリウムは非常に暑さに強い植物です。

品種にもよりますが、多くは10°C~40°Cの環境でも耐えることができ、ものによっては最低2°Cまで耐えることができるそうです！

※配送をされる方は、クール便にすると花が一気に弱ってしまうので、アンスリウムのクール便はできれば避けてください！

アンスリウムは、上記のことに気を付ければ、綺麗な状態でとっても長持ちする花です 🍊是非、上手に管理をして、長く楽しんでくださいね😊

◎感想とまとめ

アンスリウムは新しい品種を開発するのに2年ほどかかると伺いました。

これまでのスタンダードの品種が、これからも大切にされたいなと思いますし、産地の方々が「作りたい！」と思える新品種が新たなスタンダードになればよりいいなと思いました。

今回、訪れたことで、アンスリウム知らないことが沢山知れて、より愛着が湧きました。

貴重な機会を下さりありがとうございました！また行きます！

大田店 三代

今回初めて産地見学に参加しました。アンスリウムに関するお話をたくさん聞くことができ、また一つ一つの品種を丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。大佐和さん、ありがとうございました。

大田店 由井

世田谷店おすすめ

いつも大変お世話になっております。

慌ただしかったゴールデンウィークの婚礼需要や年に一度の大イベントの母の日需要が終わり市場内は落ち着きを取り戻しています。

皆様お疲れさまでした！

今年の母の日は連休と離れていた事も影響したのか事前予約より母の日の前日当日での駆け込みが多かったと多く耳にしました。

土曜日の朝早くから「花が足りなくなった」と開店を待っているお客様が多かったようです。

毎年、今の時期位から出荷が始まる花や、今しか出荷が無い花があります。いつも忘れてしまうのでこちらに残しておこうと思います。



クリスマスローズの八重咲き

旬の時期は過ぎているクリスマスローズですが北海道から今年もやってきた2週間位しか出荷がない黄色の八重咲きです。

今年は昨年より少し出荷が早かったので母の日にもご用意ができました。

ボリュームがとても良くお値打ち感ある一品です。

ビバーナムのロゼウム →

緑のロゼウムも有りますがこちらは真っ白なのがとてもいいです。

気が付いたら出荷が終わってしまうので忘れないようにしないと。



←ヒメリョウブの花付き

4月後半位から出荷が始まり暖かい産地から涼しい産地へとリレーしていく花です。

個人的に花が小さいものが好みななので今の時期は福島県産がお気に入りです。

葉が固くなりとてもいい時期です。

成長が早く先週より今週の花は少し大きくなっていました。あとしばらくかなあ。





白露錦（ハクロニシキ）の葉

一年でも今の時期位しか出荷がない、とても爽やかな葉枝です。

ぱっと見は弱そうに見えますが日持ちが良くおすすめです。



アーティチョークの花 →

今年も出荷が始まりました。まだ咲いてはいませんが蕾でも存在感抜群です。



これから楽しめる旬な花になります。
パープルがとてもいい！

スズランの木の花 →

スズランみたいな花を咲かせるととても素敵な枝です。

葉はブルーベリーの葉みたいな感じです。

出荷はほとんどないので見かけたら是非買ってください！今の時期だけの特別品です。





スカビオサ「フェゴベルデ」の白花と緑
こちらは今だけの花では無いですが母の日等にぜひ使って頂きたいスカビオサです。
緑は埋めにも使えてとても日持ちがいい！
白花はチョンマゲシリーズみたいになっている物もあってかわいいです。
もうしばらくの出荷になります。



我が家の「トロワラス」

今年も無事に一番花が咲いてくれました。
毎年咲くのは今の時期。
最初に花芽をつけてから10年位経ちますが毎年大きな花を咲かせてくれることに感謝しています。

世田谷店 草柳

仕入れの素☆ 葛西店

こんにちは。いつも有難うございます。
母の日から一週間、皆様お元気でお過ごしでしょうか？

さて私がお案内するのは今回もちょっと「お花の雑学」です。

しかも、いきなり「ギリシャ神話」。

ギリシャ神話の中には花や樹木にまつわる多くの神話（伝承）があるので初夏～夏の季節にあわせたお話をいくつかご案内致します。



カンパニュラ

英名：Bell Flower

学名：Campanula medium

オリンポスの果樹園で不老不死の妙薬と言われた黄金のリンゴ。

この果樹園の番人をしていたのが精霊カンパニユールです。

ある日一人の兵士がこの黄金のリンゴを盗みに果樹園に侵入しました。

この時、精霊カンパニユールは小さな鐘を鳴らして共に果樹園を守っていたドラゴンを呼んだのですがドラゴンの助けが間に合わずカンパニユールは殺されてしまいました。

この死を悼んで花の女神のフローラがカンパニユールの形見である鐘の形の可愛らしい花に変えたと言われています。



シャクヤク・ボタン

英名：Peony

学名：Paeonia lactiflora

医術の神であるペオンは、トロイ戦争で負傷した多くの神々を薬草であるピオニーを使って治療した功績で名声を得ました。

しかし同時に師匠のアスクレピオスからの妬みを買ってしまい暗殺の危機に・・・そこで全能の神ゼウスがペオンを芍薬の花に変えて命を助けた事からヨーロッパではシャクヤクをペオンにちなんでピオニーと呼ぶようになったそうです。

但し、シャクヤクは中国原産の花なのでギリシャ神話に出てくる「ピオニー」と呼ばれる薬草が今のシャクヤクと同種の物かは正確なところは・・・???



セージ

英名：Sage

学名：Salvia officinalis

とても美しいある池のほとりにセージと言う名前の妖精が住んでいました。

ある日、狩りでこの池を訪れた人間の王様が美しく慎ましいこの妖精に魅了され直ぐに求婚しました。

しかし妖精が人間を愛する事は死を意味してい

たのです。

王様の求愛にためらいながらもその気持ちにセージも惹かれて「あなたの愛を受け入れます」と言って王様の両腕の中に飛び込み静かに息を引き取りました。

その後、この池のほとりに綺麗な花が咲くようになり人々はこの花をセージと名付けました。



ヒマワリ

英名：Sunflower

学名：Helianthus annuus

水の精クリュティエは太陽神アポロンに思いを寄せますがアポロンの気持ちは女神カイアラビに有りました。

叶わぬ思いを悲しんだクルティエは、大空を歩き来するアポロンの姿を同じ場所で動く事なく9日間見つめ続けていました。

するとクルティエの足が根を張り、ひまわりへて姿を変えていつまでも太陽神アポロンを見守り続けているのだそうです。

但し、ヒマワリは北米原産なので、クリュティエの逸話は本当はキンセンカではないかという解釈も有るようです。



アザミ

英名：Thistle

学名：Cirsium

※「アザミ」はキク科アザミ属の総称であり植物分類学上の「アザミ」と言う個種は無いそうです。

神々の伝令役を務めるヘルメースと妖精の間に生まれた羊飼いの美少年ダブニス。その綺麗な声で牧歌を歌うダブニスは神々や妖精、自然からも愛されました。

しかし、高潔かつ傲慢な性格のダブニス自身は誰も愛する事が出来ません。これを見かねた愛と美の女神アフロディーテは彼に愛を教えようと美しい妖精の娘エケナイスを遣わせます。

一時はダブニスもエケナイスを愛したのですが直ぐに気持ちが離れてしまいました。これに怒ったアフロディーテは彼を盲目にしてしまいます。目が見えなくなり絶望したダブニスは川に身を投げて自ら命を絶ってしまいました。そこで大地は、牧歌をいつも捧げてくれたダブニスを悼んで彼が飛び込んだ場所に咲かせた花がアザミと言われています。



ハウセンカ

英名：Rose balsam

学名：Impatiens balsamina

オリンポスの宮殿で全能の神ゼウスが宴を催した際に招いた神々への贈り物として不老不死の妙薬である黄金のリンゴを用意させました。

しかし、そのリンゴが一つ足りない事にゼウスは気づきました。

リンゴを用意した女神が疑われますが、その女神は無実を訴えます。

実際に盗んだのは他の女神でありこの女神は無実だったのですが

ゼウスは無実の訴えを聞き入れずその女神を地上に追放してしまいました。

この女神は無実を訴え続けながらも最後には命を絶ってしまいました。

すべての経緯を見ていた花の精がこの女神を憐み、その屍を花に変えたのがハウセンカと言われておりハウセンカの実が直ぐに弾けるのは女神の無実の叫びだと言われている。

昔話しが由来なのでかなり地味目の花のお話が多くなってしまいました。

ギリシャ神話は当時の吟遊詩人達が人々に伝承した創作話なので、日本の神話に比べるとかなり人間味の有る愛憎劇が多くちょっと笑えないようなお話が多いのです。しかし、花や樹木の学術名の由来になっている逸話が幾つもあるので肩肘を張らずに調べて見るのもお勧めです。

接客時やお打合せ時の雑談にちょっと取り入れても良いかもしれませんね。



新緑の気持ち良い季節となりましたが、これから暑さや湿気も増してきます。
お花の品質管理と同様に皆様、ご自愛下さい。

葛西店 三浦

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「本物の言葉」(2013年05月24日号より)

久々に映画を見に行った。最近観た映画は観客が少なく、映画人口が減ってしまったのかと思っていた。あるいは私の選ぶ映画が人気のないのか、どちらかである。

選んだ映画はスピルバーグの「リンカーン」

久々に満員状態であった。

アメリカ合衆国16代大統領リンカーン、人望と人気では初代大統領のジョージ・ワシントンと双璧の大統領だ。南北戦争に多大な犠牲を払い勝利する。そして奴隷解放を成し遂げるが、圧倒的不利な状況の議会のなか最終盤で逆転。奴隷解放という人類の進むべき道をアメリカ合衆国は選択する。

リンカーンの逆転はまさに言葉の力だった。共和党の議員も民主党の議員も、一人一人力強い言葉と理性的言葉が相手を納得させる。

私の人生の中でも幾人もリーダーと出会ってきた。それらのリーダーの言葉は「夢を語り」「理想を語り」「必然を語る」。そして自らがその先頭を走る「意気込みを語る」。そのようなリーダーと出会うと若い頃、胸騒ぎ、心踊り、力みなぎったものであった。

私の言葉ではフローレ21の社員が胸騒ぎ、心踊り、力みなぎるまではとても望めない。しかしフローレ21のリーダーとして最後の夢を語り、理想を語り、意気込みを語る責任もあるように思っている。

日本一の売り上げ、日本一の仲卸を目指した。

日本一の売り上げを上げたか定かではないが、間違いなく日本一と言われた仲卸に拮抗したことは確かだった。しかし、このことに大きな価値を見出すことができなかった私は、4年前に大きく舵を切った。

私自身のカウントダウンが始まる前に、フローレ21最終の夢の実現がある。

その夢は「顧客満足度日本一の花の仲卸」実現である。

フローレ21が誕生して27年。波乱万丈、紆余曲折の状況が続き、少しだけ、皆が考えながら仕事ができるようになってきたと思っている。その意味では、夢に向う

